



# Apple Watchの画面

Apple Watchの基本画面には、時計として利用する「文字盤」画面と、アプリを利用するときに表示する「ホーム画面」があります。文字盤には通知やモードなどのステータスアイコンが表示されます。

## Apple Watchの基本画面

### ● 文字盤



Apple Watchの文字盤です。デジタル/アナログ表示の文字盤や、キャラクターを用いたユニークな文字盤など、多彩なデザインの文字盤が用意されているので、その日の気分に合わせて変えることができます。また、文字盤のカラーやスタイルを変えられるだけでなく、アラームや天気、その日のスケジュールなどのコンプリケーションを表示させることができます (Sec.11参照)。

### ● ホーム画面



文字盤が表示された状態でデジタルクラウンを押すと、ホーム画面に切り替わります。ホーム画面には、標準アプリやインストールしたアプリが丸いアイコンで表示され、タップするとアプリを起動できます。アイコンの位置を並び替えたり、リスト表示にしたりすることもできます (P.221参照)。

## 文字盤の見方

文字盤には現在の時刻のほかに、日付やその日の予定などのコンプリケーションを表示させることができます (Sec.11参照)。Apple Watchの状態や接続状況は、画面上部のステータスアイコンで確認することができます (下表参照)。



### 主なステータスアイコン

	未読の通知がある状態です (Sec.9参照)。		Apple Watchにパスコードロックがかかっている状態です (Sec.81参照)。
	Apple Watchとモバイル通信との接続が切れている状態です。		iPhoneとのペアリング接続が解除されている状態です。
	Apple Watchを充電している状態です。		Apple Watchのバッテリー残量が少なくなっている状態です。
	低電力モード：バッテリー消費を抑えることで駆動時間を延ばすことができます (P.37参照)。		シアターモード：腕を動かしたり通知があっても、画面をタップするかボタンを押すまでは画面が暗いまま、音も鳴りません。
	おやすみモード：電話や通知などで音が鳴ったり、ディスプレイが点灯したりしません。アラームのみ有効です (P.36参照)。		“睡眠”集中モード：就寝前や就寝中に通知が鳴ったり、ディスプレイが点灯したりしません (P.160参照)。
	機内モード：ワイヤレス通信を利用しない機能のみ利用することができます (P.35参照)。		防水ロックがオンになっている状態です。防水ロック中は、タップしても画面が反応しません (P.38参照)。
	マイクがオンになっている状態です。		ワークアウトを使用している状態です (Chapter 5参照)。



# ウォレットアプリの パスサービスを使う

「ウォレット」アプリは、Apple Payのほかに、お店のポイントカードなどをまとめて管理できる「パス」サービスが利用できます。パスはiPhoneから追加でき、ペアリングしているApple Watchに同期されます。

## パスを管理する

「ウォレット」アプリには、お店のクーポンやポイントカードをはじめ、飛行機の搭乗券、映画館や美術館、イベントの入場券などをまとめて管理できる「パス」と呼ばれるサービスがあります。iPhoneやApple Watchの画面を提示するだけでクーポンやポイントカードを利用することができます。

「ウォレット」アプリに対応したアプリは、Appleの公式サイト (<https://apps.apple.com/jp/story/id1270334375>) で確認することができます。



iPhoneでチケットやポイントカードなどが入っているアプリなどを開き、[Appleウォレットに追加]をタップすると、Apple Watchの「ウォレット」アプリにも追加されます。



サイドボタンを2回押すと、パスやQRコードなどが表示されるので店舗のリーダーにかざして利用します。

## ウォレットで利用できるパスサービス

### ● クーポンやポイントカード



お店で使えるクーポンやポイントカードを「ウォレット」アプリで一括で管理できます。

### ● 搭乗券、入場券などのチケット



チェックインに必要なQRコードやバーコードをApple Watchで提示することができます。

## パスを確認する

Apple Watchから追加したパスの詳細情報を確認したり、共有したりできるほか、要らなくなったパスは削除することができます。なお、Apple Watchで削除したパスはiPhone側でも削除されます。

① サイドボタンを2回押して「ウォレット」アプリを起動し、確認したいパスをタップすると、パスの詳細が表示されます。

② 下方向にスワイプして、[パスを共有]をタップすると、連絡先に登録している相手へパスを送ることができます。[削除] → [削除]の順にタップするとパスを削除できます。





# ワークアウトの表示を設定する

ワークアウト中の表示は、実行するワークアウト（P.126参照）によって異なります。表示する情報は、自分が行うワークアウトに合わせて、自由にカスタマイズすることができます。

## ワークアウトの表示を編集する

- ① P.127手順②の画面で「…」をタップします。



- ② 画面を上方向にスワイプし、「環境設定」をタップします。



- ③ 「屋外ランニング ワークアウト表示」をタップします。



- ④ 屋外ランニングの場合、「測定基準」「心拍数範囲」「スプリット」などの表示を設定できます。



- ⑤ ワークアウト中に表示したい画面下にある「含める」のをタップしてにすると、ワークアウト中の表示に追加されます。



- ⑥ ワークアウト中の表示に追加されます。



### MEMO ワークアウトを追加する

P.128手順①の画面で上方向にスワイプし、「ワークアウトを追加」をタップすると「テニス」「バスケットボール」「サイクリング」といったワークアウトを選択できるようになります。運動内容に合う種類のワークアウトが見つからなかった場合は、「その他」をタップします。



### MEMO ワークアウト中に項目状況を確認する

ワークアウト中にどの程度運動したか、項目状況を確認するには、手首を上げてP.127手順④の画面で上方向にスワイプします（またはデジタルクラウンを上方向に回す）。ワークアウトの種類に応じて、「心拍数範囲」「ランニングパワー」「セグメント」「スプリット」「高度」「アクティビティリング」といった情報を含めることができます。





# アプリをインストールする

標準アプリ以外のApple Watchのアプリは、iPhoneのアプリのサブセットになっています。Apple WatchとiPhoneのどちらかにアプリをインストールすると、もう一方にも自動的にインストールされます。

## Apple Watchからアプリをインストールする

Apple Watchの「App Store」アプリから、アプリをインストールするには、あらかじめパスコード（Sec.81参照）の設定が必要になります。

- ① ホーム画面で をタップし、「App Store」アプリを起動します。



- ② をタップします。



- ③ 検索キーワードをキーボードまたは音声で入力し、[検索]をタップします。



### MEMO インストールしたアプリを確認する

手順②で画面を上方向にスワイプし、「[アカウント]」をタップします。「[購入済み]」をタップするとインストール済みのアプリが、「[アップデート]」をタップするとアップデートが必要なアプリが表示されます。

- ④ 検索結果や候補が表示されます。インストールしたいアプリをタップします。



- ⑤ [入手]または[¥〇〇]をタップします。



- ⑥ パスコードを求められたら、「[パスコードをオンにする]」をタップして設定します（Sec.81参照）。



- ⑦ サイドボタンを2回押します。



- ⑧ インストールが始まります。



- ⑨ インストールが終わるとホーム画面にアプリが表示され、iPhoneにもインストールされます。





## Siriを利用する

Siriを利用すると、通話をかけたり、「メール」アプリを起動したりといったタスクの実行や、質問した答えをApple Watch上に直接表示することもできます。Series9/Ultra2では、オフラインでもSiriの一部の機能を利用できます。

### Siriを設定する

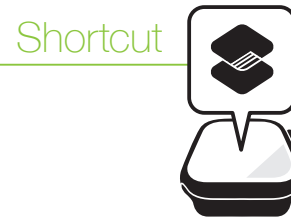
P.25を参考に「設定」アプリを起動して、[Siri]をタップします。「“Hey Siri”を聞き取る」「手首を上げて話す」「Digital Crownを押す」がONになっていることを確認します。Siriの起動をオフにしたい場合はONをタップしてOFFにすると、それぞれの起動方法がオフになります。



### Siriの便利な使い方

Siriに話しかけるだけでアプリを起動したり、Apple Watch本体やアプリを操作したりすることができます。また、タスクの実行だけでなく、質問した答えをApple Watch上に表示することもできます。

アプリの起動	本体やアプリの操作	一般的な質問
「メールアプリを起動して」 「睡眠アプリを開いて」 「設定を開いて」 「新しいメッセージを開いて」 「明日の予定を教える」など	「○○の曲が聴きたい」 「音楽を止めて／再開して」 「○○まで道案内して」 「20分の屋外ランニングを開始して」 「○○に電話をかけて」など	「現在地を教える」 「今かかっている曲は何」 「中国語でお久しぶりですはなんて言うの」など



## ショートカットを作る

iPhoneで行う複数の操作や機能をショートカットとして登録しておく、これまで数回のステップを踏んでいた操作をまとめて行うことができます。作成したショートカットはApple Watchの「ショートカット」アプリにも登録され、Siriからかんたんに実行できます。

### ショートカットを作成する

「ショートカット」アプリはさまざまなアプリと連携します。たとえば、現在地から自宅までの帰り道を表示するのに、「マップ」アプリを開き、自宅までの経路を入力して、ナビゲーションを開始するといったiPhoneの操作を1つのショートカットとして作成しておくワンタップで自宅までの経路案内が自動的に実行されます。

- 1 iPhoneのホーム画面で「ショートカット」をタップします。



- 2 「すべてのショートカット」画面で、画面右上の+をタップします。



- 3 「アクションを追加」をタップします。



- 4 「[アプリ] → [マップ] → [経路を開く]」の順にタップします。

